

7月号

リーゴ植田保育園だより

令和6年7月1日発行

一般財団法人こども財団 リーゴ植田保育園

園長 田中 佳子

リーゴが給食でなにより大事にしていることは、『みんなで楽しく食べる』ということです。保育園では、給食とおやつで一日2回～3回『食べる』時間があります。そして、それは毎日の事です。アレルギーを持つお子さんが、集団生活の中でみんながいる食事スペースから席を離されたり、別室で食べたり、違うトレイで区別されたりといった対応をされ、悲しい思いをしていることを知り、リーゴでは、そういった思いをさせないために10年前の開園当初から“3大アレルギー”を基本にした除去食のメニューを全員で食べるようにしています。開園当初は、小麦粉の代わりに米粉を使うことで蒸しパンが膨らまなかったり、固くなってしまったりなどの失敗がありました。しかし、今では調理員さんたちの日々の努力で米粉を使ったメニューもとても美味しく出来上がっています。今年度の植田は、卵を除去したメニューで対応していますが、最近の健康志向から、グルテンフリーの食事や豆乳などが体や肌の不調を改善する効果やダイエット効果が期待出来ると見直されており、小麦や乳アレルギーのお子さんはいませんが、米粉や豆乳を使ったメニューも取り入れています。小麦粉や卵の栄養は他の食材から摂取することが出来ますが、乳については、カルシウムが多く取れることから、カルシウム不足にならないようなメニューを工夫して、『みんなで楽しく食べる』想いを守り、また、一人ひとりに合わせた対応をこれからも大切にしていきたいと思えます。



<今後の予定について>

7月 1日(月) プール開き・すいかわり

5日(金) たなばた

5日(金)・6日(土)

ほし組 お泊り保育

8月 13日(火)～16日(金)

お盆休み協力保育

(保育希望の場合はお弁当をお願いします。)

30日(金) プール閉め

9月 7日(土) リーゴまつり



6月 ぱんだ・さくら組 クラスだよ

すくったり、こぼしたり!

みんな大好き
どろんこ遊び!!

友だちと関わって遊ぶことが多くなりました



水の感触を楽しむ子どもたち(^_^)



濡れた地面も気持ちいい~

大きな子の遊びに
興味津々(◎_◎)



遊び方も日に日にダイナミックに!!

雨の日も楽しく
過ごしています!

ちょっとブレイク♪

さあ ご飯にしましょ~



いらっしゃいませ~

みんなのアイドル♡



これくださ~い

一人座るとみんな座っちゃう笑
みんなで座るとたのしいね♪

りすぐみ 7月のせいかつ



シャボン玉
楽しいな～

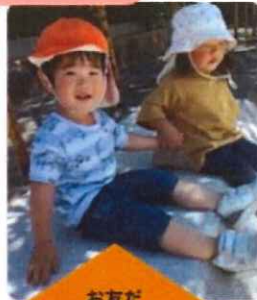
少しずつ
ハサミを
楽しめる
ようになって
きました！



もう
少して登
れそう！



一緒の服
嬉しい！



なにが
あるか
な～



お友だ
ちと手を繋いでお
散歩や遊ぶのが嬉し
い！！



丸も上
手に描けるよ
うになってしま
した！

友だちといっしょに遊んだり
手を繋いで散歩をしたりと
いっしょに何かをすることを
より楽しめるようにな
ってきたように感じます！
7月はプールも始まりますので
お手数をお掛けしますがご準備をよろしく
お願いいたします！

ほし・もも・あい組クラスだより

泥、水、泡、氷、シャボン玉、ボディペインティング（絵の具）…と盛りだくさん♡
感触遊びを思いっきり楽しみました☆



見て～👇
手に色がついてる～!



シャボン玉アートに挑戦🎨



制作も大好き!

おいしー♡



ゼリーレストランへようこそ★



野菜を収穫したよ🥒



楽しみ♪

花火教室



ハミガキ教室



チューキョーくんが
遊びに来たよ♪



チューキョーくん
お手紙を書いたよ♡



<<ほし・もも・あい組 6月の保育内容>>

◎プールあそび

プールに入るだけでなく、「水に慣れ親しむ」を目標に、様々な水を使った遊びを取り入れます。また、プールの中で色々な動きを楽しみながら、体で水の感触を思う存分楽しみたいと思います。持ち物はプールバックに、水着、タオル、濡れたものを入れるビニール袋を入れてお持ちください。

◎七夕のついて

今年の七夕はボディペインティングで絵の具遊びをした紙を笹に変身！色々な素材を使って作った子ども達の作品を飾って楽しみたいと思います。また、七夕についての話を絵本等を通して伝えながら、子ども達のイメージを膨らませていけたら・・・と思っています。

◎野菜を収穫しよう

ほし組を中心に育てている野菜たち、そろそろ収穫の時期を迎えます。日に日に大きくなり、実がなるのを心待ちにしている子ども達です。収穫した野菜はお家に持って帰ったり、給食の時に食べたりします。大事に育てた野菜をおいしくいただく・・・自分たちの体に入る食べ物について考える良い機会です。こうした機会を大切に、食への興味・関心につなげていけたら・・・と思っています。